

令和7年1月27日

令和7年1月27日 定例議会 記者発表 あいさつ

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

まずは私、二期目の任期を迎えたということで、抱負を述べさせていただきたいと思います。

この度の選挙におきまして、多くの市民の皆様からご信任をいただきまして、市長に就任させていただくことができました。

僅差の勝利ということで、勝ったものの、かなり厳しい戦いででした。これは私の一期目の市政に対する評価と、二期目に向けての期待感の表れということで、評価としては、まだまだ厳しいものがあったと思っています。目に見えて出来た成果というものが、まだ乏しく、大きな変化が感じられなかった、ということかもしれません。

また、今、大きく進めている学校再編の動きも影響したのかもしれませんし、そういった分析は、これからしていかなければなりません。いずれにしても私自身、さらに気を引き締めて市政運営に当たっていかなければいけないと考えております。

政策面では、「ウェルビーイング」を掲げさせていただき、人口が減少する中でも、心身ともに健康で、幸せや満足感を感じながら暮らしていけるまちをつくっていきたい、と訴えさせていただきました。

そのための具体的な施策、事業については、今後構築していきたいと思っておりますが、いずれにしても市民の皆さんのが、このまちで暮らして良かった、そして、今後もここで暮らし続けたいと、また、市外からもこのまちで暮らしていきたいという移住者やUターンの方を含め、そういった願いが叶う、そんなまちにしていきたいと思っています。

私の政治姿勢として、市民と共に歩む市政というものをこれまでも掲げてきました。これについても、まだまだ十分とは言えないと感じております、市民の皆さんに対する説明や丁寧な議論、そして傾聴を、これからも着実に進めていきたいと思っています。

こうしたことで、玉野が住み続けたい、暮らし続けたい、行ってみたい、そんなまちになるように努めてまいります。

最近のトピックといったしまして、『瀬戸内国際芸術祭 2025』がありました。11月9日で閉幕しましたが、宇野港周辺会場は秋会期は8,913人の来場がありました。前回に比べると数字的には減ったように見えますが、カウントの仕方が変わったということで、体感的には前回（2022）にひけをとらない、あるいはそれ以上多くの方が来られていたように感じています。

従来の欧米からのお客様に加え、台湾などアジア方面のツアーカーの方もかなり来られていたようです。周辺の宿泊施設は連日満室になる等、築港界隈で、インバウンドのお客さんが夜に歩いている姿が見かけられ、地域の方にも大きな波及、経済効果があったのではないかと感じております。

今会期は、地元企業のご協力もあり、（株）パワーエックス社敷地内にアート作品を展示したり、ナイカイ塩業（株）から塩の提供をいただいたりと、地域の活性化にご貢献いただいております。改めて感謝申し上げます。

また、会期中のシャトルバス運行も試みとして実施しました。市内への周遊観光、巡っていただく取組みについては、さらなる精査が必要と思っています。来年は瀬戸内産業芸術祭も予定されているので、玉野の観光PR、観光資源を磨いて、それを上手に編集して売り込むことを、しっかりとやらないといけないと思っています。

もう一点、大きな話題となった『Setouchi Contemporary』は、去る11月15日、16日に開催されました。

宇野港で初となる野外フェスということで、来場者は初日のフェスが5,000人、ライフスタイルマーケットが15,000人。2日目はライフスタイルマーケットのみの開催ですが、10,000人、2日間で計30,000人という、実行委員会からの集計結果でした。

県外からと思われる多くの若い方が玉野、宇野港に来られまして、ちょうど良い天気の中で、瀬戸内の魅力、玉野の魅力を感じていただいたのではないかと思っております。

また、市内の若い人たちにとっても、玉野でこういうイベントがあったんだ、できるんだと、と感じる良い刺激になったのではないかと思っております。このイベントの開催が玉野に、より誇りを持っていただけるきっかけになるものと思っております。

当該イベントにあたりまして、主催者をはじめ、関係の皆さん、運営いただいたスタッフをはじめ、地元のボランティアの方が大勢参加してくださいり、会場のいろんな案内とか、ごみの収集等を対応いただきました。皆

さんのご尽力に、心から感謝申し上げます。

次に、『みやま公園 EV ステーション開所式』として、EV の急速充電機が（株）パワーエックスさんによって、みやま公園に設置されました。

みやま公園の活性化にもつながりますし、地球環境、カーボンニュートラルに向けての取組みということで、市民の皆さんにも EV の普及、そして啓発といった面で、大きな刺激になることを期待しております。今後、しっかりと活用していただければと感じております。

次に、本市 PR の機会ということで、11月は『東京玉野会』と『近畿玉野会』が、例年どおり開催されました。

東京玉野会の方では、俳優の宅麻伸さんが来られまして、会場も大いに盛り上りました。従来より、少し若い世代の方も入会され、首都圏、近畿圏ともに知名度アップ、魅力の発信ということをお手伝いをいただけるのではないかと期待しております。

今後も、こうした市外での PR の機会には、私自身が積極的に出向いていきたいと考えているところです。

このたびの 12 月定例議会については、補正予算、財産取得等の議案がございます。この後、担当課から説明させていただきます。いずれにいたしましても、二期目のスタートということで、今議会の冒頭では所信表明も行いますし、より、この玉野がパワーアップしていけるような取組みを進めていきたいと考えているところであります。

私からは以上です。